

学校教育目標

笑顔あふれる学校

重点目標

学びを実感する  
成長を実感する  
あたたかな心を実感する

育成する資質・能力  
あたたかく聴く やさしく話す

子ども

教職員

保護者・地域

県(ふじのくに「有徳の人」づくり大綱)  
市(授業で人を育てる・子どもが安心して学べる学校づくり)

国の動向  
学習指導要領  
主体的・対話的で深い学び→「生きる力」  
ICT・タブレット活用

P

学びを実感する  
授業づくり

- ◎子ども一人ひとりが学びを実感する授業を積み重ねる
- 聴いて 考え つなげる 授業
- あたたかく聴く やさしく話す
  - ・「聴く」の質を高めることにより子どもの主体性を引き出す。
  - ・「聴く・語る」の一体化
  - ・聴いて考えつなげるが連動する
  - ・思いや考えを共有しながら追求し合い、深い学びを具現する。授業を説明、再現自分の考えがはっきり言える 90%以上
  - やさしく話すことができる 90%以上
  - 授業がよくわかる 90%以上
- 読解力の育成と活用
- 家庭学習の推進
  - ・学習習慣の定着を図る
  - ・めあてをもって取り組む家庭学習
- 外国語活動・道徳授業の充実
  - ・外国語・外国語活動を着実に実践する
  - ・道徳授業を実践しながら全体計画、別様指導計画を確かにしていく
  - ・小中9年間の学びをつなげる

成長を実感する  
生徒指導

- ◎子どもが成長を実感する生徒指導を機能させる
- 一人一人が成長の実感を積み重ね、互いに喜び合う
- よさ・がんばり・成長・事実の価値を捉える教師の感性をみがく
- 全職員で取り組む子ども理解
- 望ましい人間関係づくり
- 自ら行動目標を設定し、継続的に意識、行動する(見える化)ことで、自己肯定感を高める(非認知スキルアップ)
- 自己肯定感と挑戦する風土によるキャリア教育の推進
- 小中9年間の生徒指導をつなげる
  - 自分にはいいところがある 90%以上
  - 友だちのよいところを見つける 90%以上

D

あたたかな心を実感する  
学校運営

- ◎自分や自分たち・自分の学校のよさを子ども、教職員、保護者、地域が実感し認め合い喜び合う
- 自分や自分たちの事実を通してあたたかな心の実感を積み重ねる
  - 学校が楽しい 95%以上
  - 友だちと仲良く生活している 95%以上
- 成長を実感し、協働する教職員
- 家庭・地域等との連携
  - ・保護者と丁寧につながりよさを共有する
  - ・情報の発信・提供と相談体制の充実
  - ・行事・授業を地域に公開
  - ・地域の支援を子どもと共に喜び感謝する
- 学習環境の整備
  - ・ピア・サポートの推進
  - ・生活全体で「あたたかく聴く」やさしく話す
  - ・個のよさ・力を伸ばす特別支援教育
  - ・ICT機器の効果的な活用
  - ・青島地区5校にとって最善な小中一貫の方向を地域と共に模索する

J(授業) A(あいさつ) S(支え合い(サポート))は東小の自慢!!

授業

あいさつ

支え合い(サポート)

A

「チーム青東」教職員集団の力

C

働き方改革...①学び・成長をつなぎ教育の質を向上させる ②電話対応時間を制限する ③最終退勤時刻を設定する④慣習により行われてきていることの中で、職務として行うことではないことについてはやめる⑤本当に学校が背負わなければならない仕事かどうかを考え、見極める